

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○現状支持されたことを実行する事が業務、職務であり理念という概念を理解させる土台ができていない。 ○職員の入れ替わりにより、経験日数が絶対的に不足している。若年者が多い事も理念の共有の妨げとなっている。	○利用者をひとりの人間・個人として認識し、信頼関係を築いていく事が重要である事を職員ひとりひとりが理解する。	○利用者に関わる際にその場その場の断続的な対応ではなく、表情や声のトーン・発言内容からその方の感情や心境等を推測させる。 ○職員ひとりひとりのレベルに合った理念を作り、経過を観て職員それぞれの理念のすり合わせを行う。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議とホームの行事を同時開催している為、情報のやり取りが少ない。	○会議内容を見直し、近隣の方々との意見交換及び情報のやり取りを今以上に充実させる。	○会議はホームとの行事開催とは分けて実施する。 ○民生委員の方の参加も積極的に促していく。	6ヶ月
3	49	○中庭での戸外活動は行っているが、外出自体は少ない。	○日常的に個々の外出活動を支援する体制を作る。	○五感刺激について話し合い、現状の業務でどの程度の外出支援が可能かを考える。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月